網走運動公園再整備構想　概要版

令和8年3月　網走市

1．網走運動公園再整備構想の背景･目的

本市のスポーツ施設においては、人口減少、少子高齢化が進むなか、施設の老朽化やニーズの変化に対応しながら、施設ストックの適正化および安全で多様なスポーツ環境の持続的な確保を図る必要があります。

なかでも、スポーツ施設が集積する網走運動公園は、老朽化が進む施設も多く、今後の施設のあり方の検討が必要な状況です。

網走運動公園再整備構想（以下、本構想と表記）では、現状を把握しながら各施設の維持・統合・移転・廃止等の今後約 10 年間の方針を検討することを目的とします。網走運動公園のスポーツ施設と機能や役割が重複する網走スポーツ・トレーニングフィールド野球場（以下、スポトレ野球場と表記）、オホーツクドームも検討対象とします。

網走運動公園外の検討対象施設

- 網走スポーツ・トレーニングフィールド野球場
- オホーツクドーム

図　検討対象施設の立地状況

2．各施設の活用方針

ここでは「建物状況※1」、「活用度※2」の２つの観点の評価結果を踏まえて活用方針を決定します。

表　各施設の活用方針

施設名称	建物状況	活用度	活用方針	内容
網走市総合体育館	劣化あり	高い	建替再整備	建物状況が悪い一方、活用度が高い施設のため、**建替再整備を図る**。
すぱーく網走	利用上の問題あり	低い	優先的な統合・廃止	２施設共に、建物状況、活用度のいずれの評価も低いため、**優先的に２施設を集約化し**、利用者数に見合った規模への**建替再整備を図る**。
オホーツクドーム	利用上の問題あり	低い	優先的な統合・廃止	
網走市営野球場	利用上の問題あり	低い	優先的な統合・廃止	建物状況、活用度のいずれの評価も低いが、スポトレ野球場は一部劣化に留まるため、**スポトレ野球場を改修、照明等の設備の充実を図るともに、機能の集約化を図る**。
スポトレ野球場	一部劣化あり	低い	統合の検討	
網走市営陸上競技場	問題なし	高い	継続使用	建物状況、活用度ともに高く、今後とも**施設の長寿命化を図ることで施設機能を保持する**。
網走市民健康プール	問題なし	高い	継続使用	建物状況、活用度ともに高く、今後とも**施設の長寿命化を図ることで施設機能を保持する**。

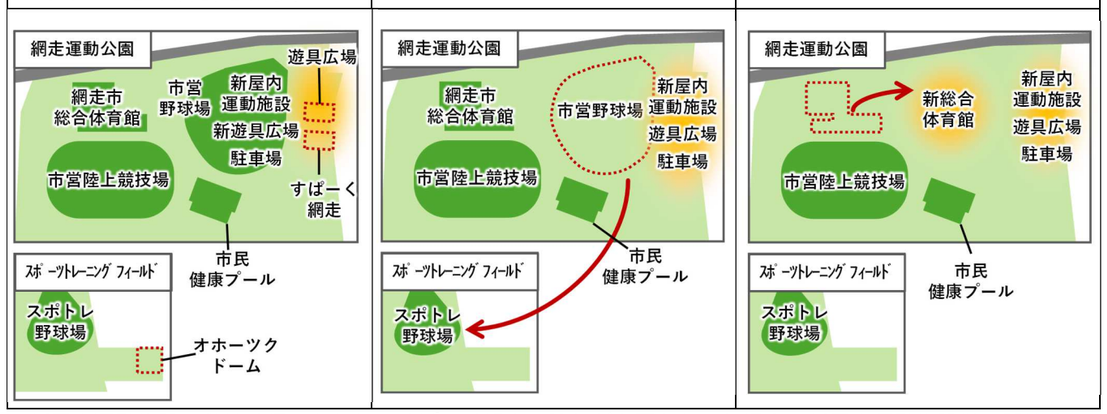
※１：建物状況は「建築」「電気設備」「機械設備」「外構」「耐震性」の５項目について劣化度状況調査（令和７年７月実施）を踏まえて総合評価を判定しました。

※２：「施設利用者数」「稼働率」「スポーツ大会の開催日数」を踏まえて判定しました。ここでは、あくまで検討対象の７施設の相対評価としています。

3．再整備の進め方

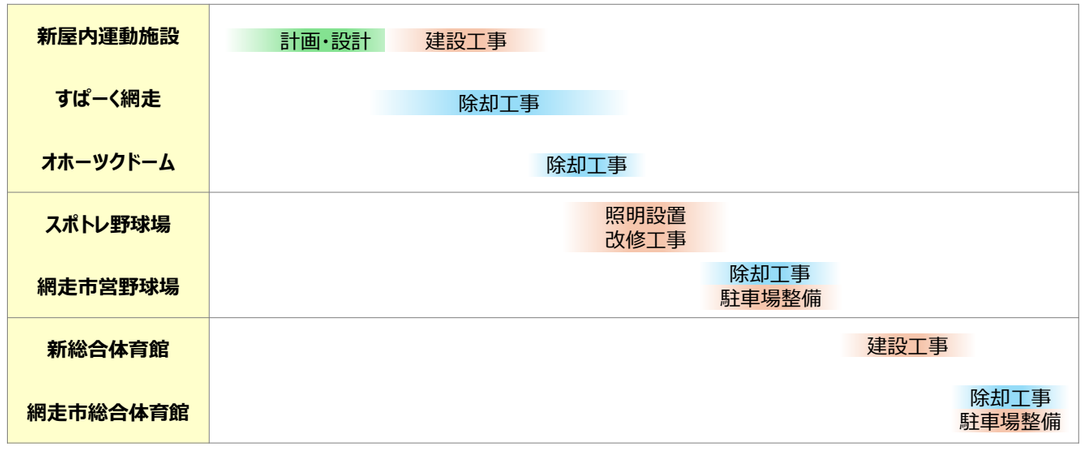
各施設の活用方針を踏まえた、再整備の進め方および施設の配置計画を示します。

①新屋内運動施設等の建設･オホーツクドームの除却	②スポトレ野球場の改修･市営野球場の除却	③新総合体育館の建設
新屋内運動施設の建設および新遊具広場の整備を行うとともに、すぱーく網走および遊具広場、オホーツクドームを除却します。※	スポトレ野球場を改修の上、市営野球場の機能を統合し、市営野球場を除却します。	市営野球場の跡地付近に新総合体育館を建設します。供用開始後、現施設は除却します。



※新屋内運動施設の敷地確保にあたり、すぱーく網走の除却が必要となった場合、新屋内運動施設供用開始まで、オホーツクドームを代替施設として確保します。

今後約 10 年間の進め方を表形式で示すと以下の通りとなります。



4．今後の検討課題

本構想においては、検討対象とした７施設について、活用方針や再整備の進め方を示しました。

今後、個別施設の再整備を具体的に検討する際に、右表の内容について詳細検討を行っていきます。

- 施設利用団体や市民ニーズの調査を踏まえた導入機能や必要面積の検討
- 事業実施や施設運営の手法の検討
- 既存施設の継続利用に配慮した配置計画の検討
- 施設整備にあたって活用可能な交付金・補助金等の検討